

平成30年度 公立小松大学入学者選抜試験
一般入試（B日程）試験問題

小 論 文

【国際文化交流学部】
国際文化交流学科

（注意事項）

- 1 問題冊子は指示があるまで開いてはいけません。
- 2 問題冊子は本文3ページです。答案用紙は2枚です。
- 3 答案用紙の所定欄に受験番号を記入しなさい。
- 4 答えはすべて答案用紙の指定のところに、横書きで記入しなさい。
- 5 アルファベット文字や数字は、1マスに1字で記入しなさい。
- 6 字数制限のある解答については、句読点を1字と数えること。
- 7 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰ってください。

I 次の文章には「人生の裏側まで学ぶ機会」というサブタイトルが付けられています。
文章をよく読んで、後の問いに答えなさい。

著作権の関係上、非公表としております。

(産経新聞 2013 年 11 月 13 日オピニオン欄 曾野綾子「透明な歳月の光：中学生の国際援助」より。一部省略した個所があります。)

注 NGO: non governmental organization (非政府組織)の略称

[問1] 筆者が「少し細かく報道してほしかった」、「もう少し詳細な報道がほしい」と述べる理由を、簡単にまとめなさい。(字数指定なし)

[問2] あなたは開発途上国に対する援助をどう考えるか、また仮にあなたが、本文で引用されているいわき市の中学生のように、現地で学校を建設することになったら、どのような点に留意すればよいか。この文章の趣旨をふまえながら400字以内で述べなさい。

Ⅱ 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

著作権の関係上、非公表としております。

(柳田國男「雪国の春」『新編柳田國男集第二巻』筑摩書房、1978年、15・16ページ、一部
改変の上、引用)

〔問1〕下線部(A)「これとよく似た心持」とはどのような「心持」をいうのか、文章の
趣旨に即して200字以内で説明しなさい。

〔問2〕下線部(B)「人間の力」と下線部(C)「文字の力」を使用して、春を迎える喜び
について、あなた自身の考えを500字以内で論述しなさい。